

令和元年 11 月 8 日

報道機関 各位

富山大発の軽量小型の眼球運動記録装置

(概要)

めまい患者では、眼振と呼ばれる特徴的な目の動きが観察されます。フレンツェル眼鏡は眼振を観察する携帯型の医療機器として病気の原因や重症度を診断するため広く使用されていますが、これまで動画記録することはできませんでした。

富山大学医学部耳鼻咽喉科（將積日出夫教授）では、フレンツェル眼鏡に装着する撮影装置を発明し、特許を取得しました（特開 2013-031631、フレンツェル眼鏡用眼振撮影装置）。この度、（財）富山県新世紀産業機構の採択（富新産第 366 号）を受け、株式会社ハイメックは富山大学耳鼻咽喉科と共同で眼振を CMOS カメラで撮影し、Wi-fi にてケーブルレスにパソコン等で表示可能な「フレンツェル ウェアラブル IR カメラ」を開発し、医療機器として医薬品医療機器総合機構（PMDA）の承認も受けることができました。

本装置は軽量（125g）で持ち運びやすく、ケーブルレスのため様々な頭位で行われる眼振検査において操作性が優れています。アダプタにより既設のフレンツェル眼鏡に接続可能なため、往診に用いることが可能です。今後、救急外来を始めとしためまい診療に役立つ事が期待されます。



富山大学耳鼻科開発の
フレンツェル ウェアラブル IR カメラ

本件に関する問い合わせ先

【先生のコメントに関する問い合わせ】

富山大学 耳鼻咽喉科
TEL. 076-434-7368
E-mail: jibi@med.u-toyama.ac.jp

【器械についての問い合わせ】

株式会社ハイメック
TEL. 076-434-3880
E-mail: himecasi@tam.ne.jp